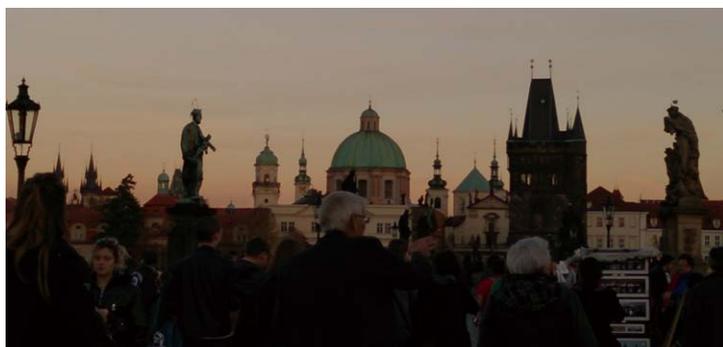


# たそがれどきから夕闇へ

Czech de Yanska  
Vol.7



## 百塔の街のシルエット

プラハは、バロックから近代までさまざまな様式の建築物の街。昼間には気づかなかった塔や聖徒の像が、夕焼けを背景に浮かび上がります。

## たそがれの庭園から

眼下のプラハの街に少しずつ灯りが点いていきます。丘の上に建つストラホフ修道院の鐘の音は、さざ波のように街へ響いていきました。

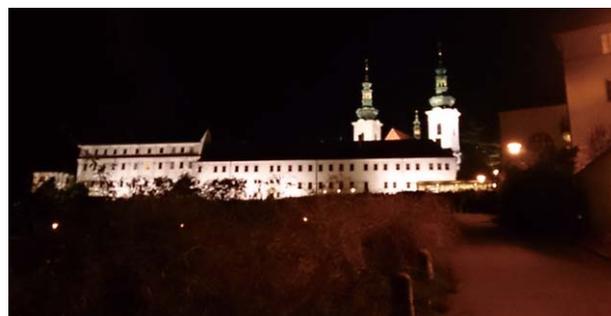
## 白くかがやく

石畳の坂道をゆっくりのぼると、夕闇にそびえたつ修道院が見えてきます。



## ミステリアス

南ボヘミアにあるチェスキー・クルムロフ城。メルヘンなピンクやグリーンで塗られた城の塔は、日が落ちると表情を変えます。



## すきまから覗く

16世紀にできた城には、未だ中世が漂っています。城内には、四方が色鮮やかなフレスコ画で埋め尽くされた仮面舞踏会の大広間も。



## 夜のウィンドウ

夜道を歩くと、店内が窓越しに窺えます。談笑したり、美味しそうに食べたり。窓ぎわの演出も素敵。



## 広場にて

日がとつぷりと暮れると、街はオレンジ色の照明に包まれます。建物や石畳の道に映え、ヨーロッパの街角ならではの風情です。



## 満月

プラハ城近くを歩いていたなら、ぼっかり。旅先で満月に遭うと、日本では、今夜どんな月かなと思ひながら写真を撮ります。